

令和6年度 第33回 三ヶ日東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1 開催日時 令和7年1月24日（金）13時00分～15時40分

2 開催場所 三ヶ日東小学校 大会議室

3 出席委員 大野 恵美子、楠 道寛、渥美 浩之、大井 宏文、
黒柳 啓子、若松 一也、染葉 直美、鈴木 康二

4 欠席委員 石原 正仁、和田 勝美

5 学 校 中村 圭介（校長）、吉川 利行（教頭）

6 傍 聴 者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美

8 運営協議会開催前に、給食試食会を行った。

9 議長の選出

司会（染葉委員）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回会議終了後決定した通り、大井委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 前回会議録の確認

司会の指示により、教頭から、別紙資料に基づき前回会議録について説明があった。

11 協議事項

（1）学校評価の成果と課題から

- ・学校の自己評価
- ・学校関係者評価

※いじめ防止等のため基本的な方針の評価も含む

（2）教育活動や児童の様子に関すること

（3）令和6年度の学校運営協議会自己評価について

（4）その他

（学校サポーター・学習支援活動の集約、ステッカーの引継ぎと管理等）

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。（楠委員14時15分より途中参加）

（1）学校評価の成果と課題から

- ・学校の自己評価
- ・学校関係者評価

※いじめ防止等のため基本的な方針の評価も含む

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、学校評価アンケート結果、学校

関係者評価について説明があった。説明後授業参観を行い、意見を求めたところ、委員から以下の発言があった。

◇児童が積極的に手を挙げられる環境にあると思う。(鈴木委員)

◇保護者、児童、教員とそれぞれアンケート結果に差が見られる。アンケート結果から改善策を考えていった方がいい。(鈴木委員)

◇授業が面白い。子供たちも生き生きと楽しそうに授業を受けている。先生方が工夫しているのがわかる。(若松委員)

◇家庭学習等は家庭環境、個人によって差が出るので、非常に難しいと思う。学校から改善させることは難しい。授業で分かりやすく教えていただけていると思う。保護者の方々も言いたくなるのは分かるが、大事なことは他にもあると思う。(若松委員)

◇中学に行って学力が足りなくて行きたい高校に行けないという話を聞く。自分がやりたいことが見つかった時に、可能性が減るかもしれない。何故勉強するのかを話してあげた方がいい。(若松委員)

◇子供たちが楽しく学校へ通いたいと思えることは、友達関係もあると思うが、1番は勉強が良く分かるということだと思う。そういう意味では分かる授業をしているただくということが1番だと思う。今日の子供たちの様子を見てみると、やりたい意欲があふれ出ている。低学年は特に。先生方の工夫があるからだと思う。(大野委員)

◇先生方の教材研究をする時間が無いと感じている先生もいる。学校で時間をどうとっていくのかと思う。働き方改革がされていると思うが、放課後等さける時間を作ってあげられないものかと思う。(大野委員)

◇楽しそうだというのは感じられた。小さいうちから生きた英語を学んだり、タブレットを使ったり、自分たちの頃とは時代が違う。これから先が楽しみ。(大井委員)

◇今の子どもたちは外で遊ばず、家の中で動画を見たりしていて、読書も勉強も足りないと思うところもあるが、テストの結果をみていると授業で十分理解できているのかなと思う。無理に勉強させるより、好きなことをさせて、そこを伸ばしてあげた方がいいと思うこともあるが、中学へ行って勉強がついていけず、不登校になる可能性もある子もいるので、みんながついてきているかの確認は必要と思う。(大井委員)

◇パソコン等の機器が多くあることで、興味を持ち楽しく学習できていると思うが、楽しんでいるが、どの程度定着しているか確認は必要だと思う。(染葉委員)

◇機械対自分になってしまい、世界が広がらない恐れも多少感じている。他のことへの繋がりが薄くなってしまう傾向については考えたい。めりはりをつけ、子供同士で関わる時と、個々に取り組む時と意識して作ることが大切だと思う。(染葉委員)

◇子供たちは授業を楽しそうに受けていて、先生方の工夫しているのがよく分か

る。(渥美委員)

◇先生方の教材研究の時間がとれているという項目が、そう思うがゼロなのが気になった。(渥美委員)

◇今日初めて外国語の授業を見て、自分も受けてみたいと思った。(黒柳委員)

◇保護者の意見としては、もっと勉強して欲しい。先生方が熱心なので、もっと色々なことに取り組みたいが時間が取れないと思った。習い事等もあり、家庭での学習については、いつまでたっても課題になると思う。(黒柳委員)

◇昔は人数も多く中には、あまり手を掛けられなかった子もいたと思う。勉強や部活も自分でどうすればいいか考えないといつていけなかった。今は部活でも即レギュラーになれたり、先生が教材をしっかりと揃えてくれたりしているので、ありがたい反面、子供の様子を見ると待ちの姿勢が多いのが気になる。自分で考えようとしない。親も面倒見すぎだと思う。自分で考えられる子の方が伸びる。(楠委員)

◇知らないと動けないので、自主的に動けるかどうか、自主性が大事になる。道具なども自分でメンテナンスすることで、大事にする。全部お膳立てしてしまっている、今更突き放せない。(大井委員)

◇色々なスポーツを経験させて、色々なことに興味を持ってもらいたい。(大井委員)

◇中学の部活の地域移行に伴い、スポーツ少年団と連携しながら、市の教育委員会と地域で組織を作って行こうと考えている。(若松委員)

◇自主性が無いと言われているが、私たちが見ていないだけで、実際1時間参観すれば、自主性を育てる授業をしてくれていると思う。(大野委員)

◇昔は中学の部活動等、全部自転車で行っていたが、今は送迎があたりまえ。(楠委員)

◇ミーティングや子供たちに自分たちで考える時間を与えることで自主性は育つ。スポーツなら戦略を考えさせる等。(若松委員)

◇レクチャーを受けてから、どうしたらいいか考えさせる、を繰り返しやる。(若松委員)

◇交通安全を語る会では、テーマを決めて意見を求めると、沢山意見が出ていたので、テーマを決めてあげればいいと思う。(大井委員)

◇自主性と言うと、自分個人を見つめなおすという意味に捉えがちで自分しか見えなくなる、本来は他人があって自分なので、他人を認識することが自主性。自分自身のところは、いくつになってもわからない。他人をしっかり認めてあげる。(楠委員)

◇保護者との連携をいかにしていくかが大切だと思った。(鈴木委員)

◇いじめに対しては学校でしっかり対応して頂いていると思う。(若松委員)

◇いじめを無くすことは難しいと思う。寄り添ってくれる子が一人でもいいと思う。(楠委員)

◇最近は子供の表れも多種多様なので、個々に対応している学校は大変だと思う。学校で話を聞いてあげる、児童が話しやすい環境であるのはありがたい。(大井委員)

◇対応している先生のケアもしてあげてほしい。一人で抱え込まないようにする仕組みづくりが大切だと思う。(大野委員)

◇攻撃されやすい子に対して、周りがどういう目でみているか、保護者や教師が意識していないとエスカレートする場合があると思う。(染葉委員)

◇子供が学校へ行きたくない理由として、安易にいじめと言う場合があるので、本当のいじめとそうでないものと区別が難しい。学校側も大変だと思う。(大井委員)

(2) 教育活動や児童の様子に関すること

議長の指示により、教頭から説明があり、意見を求めたところ、委員から発言はなかった。

(3) 令和6年度の学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき、学校運営協議会自己評価について説明があり、次回運営協議会時まで記入し、提出する様説明があった。

(4) その他

(学校サポーター・学習支援活動の集約、ステッカーの引継ぎと管理等)

議長の指示により、染葉委員から、学校サポーター、学習支援活動について説明があった。

議長の指示により、教頭から、ステッカーの引継ぎと管理について説明があった。

■連絡事項等

(1) 次年度以降の委員について

司会の指示により、大野委員より別紙資料に基づき委員の任用について説明があった。

(2) 次回議長の選出

○司会より次回議長の選出について、議長を黒柳委員、司会を鈴木委員に推挙する旨の報告があった。

(3) 年間予定

○教頭より、年間予定について説明があった。

第34回：令和7年 2月18日(火) 15時00分～16時30分